

IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究

①対象者の受療施設名

京都大学医学部附属病院、関西医科大学医学部附属病院、東北大学病院、東京都立駒込病院、信州大学総合健康安全センター、鹿児島大学医学部附属病院、倉敷中央病院、帝京大学医学部附属病院、慶應義塾大学医学部附属病院、筑波大学医学部附属病院、岡山大学医学部附属病院、和歌山県立医科大学附属病院、金沢大学医学部附属病院、産業医科大学附属病院、札幌医科大学附属病院、東京医科大学附属病院、富山大学医学部附属病院、金沢医科大学附属病院、名古屋大学医学部附属病院、獨協医科大学附属病院、医療法人神甲会隈病院、神戸海星病院、大阪府立呼吸器アレルギー医療センター、長崎大学医学部附属病院、倉敷成人病センター、長岡赤十字病院、久藤総合病院、国立病院機構京都医療センター、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院、名古屋市立大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院、東京女子医科大学八千代医療センター、九州大学医学部附属病院、昭和学医学部附属病院、長野市民病院、東京高輪病院、愛知県がんセンター中央病院、横浜市立大学附属病院、香川大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、東京女子医科大学病院、群馬大学医学部附属病院、金沢医療センター、静岡県立静岡がんセンター、大阪医科大学附属病院、新潟大学医歯学総合病院

②対象となる患者さん

IgG4 関連疾患と診断、もしくは疑われた患者さん。

③対象となる期間

平成 1 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの臨床データ、病理組織を収集します。期間を延長する場合は、倫理委員会への申請を行い、新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野ホームページにてお伝えいたします。

④研究目的の概要

研究の目的; IgG4 関連疾患とは、膵臓や唾液腺など様々な臓器に IgG4 という抗体の一種を発現した細胞が浸潤する原因不明の疾患です。この疾患には膵臓を侵す自己免疫性膵炎や涙腺唾液腺をおかすミクリッツ病、腎臓を侵す IgG4 関連腎疾患など幅広い疾患を含みます。現在、膵臓、涙腺唾液腺、腎臓を診断する基準や治療方針は厚生労働省の班会議や学会を中心に作成されておりますが、他の臓器を診断する基準や治療指針はまだできておらず、本研

究によって作成、改訂していきます。また、ステロイド投与は、この疾患に対して有効な治療法ですが、どの程度の方に対し使用するべきなのか、代替薬についてなど、わかっていないことがたくさんあります。このため今後、更に研究が必要です。今後研究を進めるためにも、診療のために使われた臨床データ（カルテや血液データの結果、エコー、レントゲンなど）、採取された組織を今後の研究の企画のために使用させていただきたいのです。

⑤研究方法の概要

上記のような IgG4 関連疾患（ミクリッツ病、自己免疫性膵炎、IgG4 関連腎疾患など）と診断された患者さんの診療のために使用された臨床データ、組織を解析して、専門家の話し合いにより、臓器ごとに診断するための基準と、最適な治療のためのガイドラインを完成、改訂させていただきます。更に、上述の臨床データ、組織を解析して、よりよい医療をするため、今後の研究の企画に使用させていただきます。

⑥個人情報保護の仕組み

本研究では、個人情報は使用しませんので、個人情報が外部に漏れることはないと考えています。

⑦参加拒否は自由です。

参加拒否は自由であり、随時参加の撤回をすることが可能です。それにより不当な診療上の不利益を受けません。参加拒否を御希望される場合は下記に御連絡ください。

⑧研究の主体および問い合わせ先（電話番号、氏名など）

ご質問などあれば、遠慮なく下記にお問い合わせください。

厚生労働科学研究費補助金 課題名：「IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究」事務局 原 昇、鈴木舞子、島田真以子
連絡先電話番号 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 025-227-2289